

■兵庫県知事の主な発表内容

- 大阪、神戸・阪神間など人口密集地との往来は31日まで自粛
- 県立施設の休館は31日まで
- 帰国者と家族は保健所に申告を
- 密閉空間、人の密集、近距離の会話の3条件に当たるイベントは中止、延期を

兵庫県知事 井戸敏三は24日、新型コロナウイルスの感染防止で20日から県民に要請していた「大阪、神戸など人口密集地との不要不急の往来の自粛」に

ついて、31日まで引き続き呼び掛けると発表した。県内での都市部との往来も含むが、通勤通学などは想定せず「注意喚起としてのメッセージ性」を重視した。県立美術館など県立施設も31日まで臨時休館を続ける。県は24日、感染症の専門家や有識者らによる「新型コロナウイルス感染症対策協議会」（座長・荒川創一神戸大学院客員教授）の初会合を開催。提案に基づき今後の対応を公表した。

「不要不急」の解釈は「通勤や通学、既に決まっている待ち合わせなどは含んでおらず、それぞれで判断してもらいたい」と説明。継続する方針は大阪府にも事務連絡したという。同様に20日から再休館に

一方、大阪府の吉村洋文知事は府庁で記者団に「兵庫県に合わせ大阪も月末まで（自粛要請する）という考え方はない」と述べた。大阪側の要請は3連休最終日の22日までだった。

（井関 徹）

井戸知事 県立施設臨時休館も

往来自粛 31日まで

当面、24日までとした大阪などの往来自粛は「健康管理の注意喚起になっていく」（荒川座長）との指摘もあり継続を判断。井戸知事は「効果はあまりよく分らないが、接触機会を減らすメッセージにはなっている」と強調した。

また、帰国者の感染者3月23日時点で8人が増加しているため、帰国者とその家族に対し、保健所に申告した上で帰国から2週間の健康管理を呼び掛ける。国にも水際対策の強化を要請するとい、井戸知事は「この数日増えており、しっかりとフォローする必要がある」と危機感を示した。

また、帰国者の感染者3月23日時点で8人が増加しているため、帰国者とその家族に対し、保健所に申告した上で帰国から2週間の健康管理を呼び掛ける。国にも水際対策の強化を要請するとい、井戸知事は「この数日増えており、しっかりとフォローする必要がある」と危機感を示した。

名前【 】

- ① 今月20日から兵庫県民に要請していた「大阪、神戸などの人口密集地との不要不急の往来の自粛」を31日まで引き続き呼びかけると発表したのは誰ですか。

--	--	--	--	--	--

- ② 吉村洋文知事も大阪府民に自粛の延長を要請する考えですか。合うものに○をつけましょう。

- ( ) 要請する  
 ( ) 要請しない  
 ( ) 検討中

- ③ 「不要不急」の判断についてうかがいます。あなたならどうしますか。行く場合○を、行かない場合は×を書きましょう。

- ( ) 以前から約束していた大阪の友達と梅田で食事をする。  
 ( ) おいしいケーキを買うために三宮に出かける。  
 ( ) 桜が咲き始めたので姫路城へ見に行く。